

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花 楽しくあいさつができる子

ほかほか花 相手の心を思いやることができる子

きらりん花 きらきらと自分らしく輝く子



運命の一冊に出会うため

私が初めて西部小学校の図書室に入ったとき、「なんて素敵な図書室！そして面白そうな本！西部っ子がうらやましい！」と思いました。そんな素敵な図書室で光栄なことに図書の仕事をしてもらっていますが、西部っ子の本の貸出が少ないことを知り、少し寂しく思っています。

私は小学生の頃、那須正幹先生の「ズッコケ三人組」シリーズと出会い、読書の楽しさを知りました。「ズッコケ三人組」シリーズは主人公のハチベエ、ハカセ、モーちゃんの三人組が活躍する全50巻に渡る大人気シリーズです。当時小学4年生だった私は、よく図書室に通っていました。しかし、たくさん文字が並ぶ児童文学は大の苦手。そんな中、なんとなく手に取ったのが「ズッコケ山賊修行中」でした。本を開いた瞬間、文字の量に最初は「うっ…」と顔をしかめたのですが、同じ年頃の主人公たちがタイムスリップをして冒険する姿はとても刺激的で、あっという間に物語の世界にのめりこみました。いつの間にか文字の量も気にならなくなり、大好きなゲームも忘れて本を読んでいた。この物語はとある登場人物が意外な選択をして結末を迎えます。その結末がハッピーエンドなのかバッドエンドなのか私には理解できず、読み終わった後も頭の中はズッコケ三人組でいっぱい！（この文を書くにあたって読み返してみたのですが、大人になっても迷ってしまうエンディングでした）生まれて初めて読書の本当の楽しさにたっぷり浸った幸せな体験だったと思います。

それから大人になるまで、いろいろなところで素敵な本と出会いました。その度に主人公と喜んだり、悲しんだり、苦しんだり、悩んだり…。読み終わってまた深く考え、喜んだり、悲しんだり、苦しんだり、悩んだり…。想像力をフル回転させていました。読書を通して自分の内面が形成されていったと思います。

私は同じような経験を西部っ子にも是非味わってほしいと思っています。活字嫌いの子

供が増えているといわれますが、夢中になれる1冊との出会いがあれば読書を好きになるように思います。本との出会いの場は、家の中、市の図書館、友達から借りた本等いろいろなところあるでしょう。そんな場の一つとして提供できるように、図書委員会と共に素敵な本を紹介したり、企画を行ったりしながら学校図書館を盛り上げています。なかなか遠くに遊びに行けない今、お子様と一緒に秋風を感じながら読書をするのはどうでしょうか。西部っ子が運命の一冊に出合えるよう、今日も図書室で待っています。

(図書館指導担当 藤澤 舞奈)



西部っ子 絵画展 2021

芸術の秋、子供たちがそれぞれの思いで作品を完成させました。校内に掲示中ですので、学習発表会の折にはぜひご鑑賞ください。なお、いくつかの作品は市の小学校絵画展入賞作品展覧会（10/29～11/7 滑川市博物館）に出品されております。ぜひ足を運んでいただければ幸いです。

1年 すてきなもようのいきものたち	2年 ふしぎなたまご	3年 見て見て！わたしの昆虫ワールド
		
「こんな生きものがいたらいいなあ」と想像して描きました。	「ふしぎなたまご」は、どんな形、どんな色でしょう。中から生まれてきたものは……？	自分が昆虫の世界に飛び込んだつもりで、細かい模様や体のつくり注目して描きました。
4年 物語からイメージして	5年 まだ見ぬ世界	6年 〇〇な場所
		
竜の登場する物語を読み、想像をふくらませて、オリジナルの竜を描きました。	ポストカードの先にはどんな世界が広がっているのだろう。イメージを自由にふくらませながら描きました。	小学校生活を振り返って、自分が描きたい最も思い入れのある場所を選び、丁寧に描きました。

みんなのMVP！



勉強を教えているすがすがすてきでした。

日頃の子供たちの頑張りやよいところを全校のみんなに伝えようと、かがやき委員会が「みんなのMVP」という活動を行っています。一人一人の頑張りやよいところを準備された紙に書き込んで、放送で紹介されたり掲示されたりしています。

放送を聞いたり掲示を見たりした子供たちが「自分も頑張りたい」「自分も見つけたい」と感じ、MVPの輪がどんどん広がりを見せています。

〇〇さんはいつもすれ違うときあいさつをしてくれます。

1年生が給食をきれいに食べてくれてうれしい気持ちになりました。

体育の時間、スライディングを決めたときみんなが拍手してくれてうれしかった。